

小児科 での 研修について教えてください。

初期研修の目標は、今後救急外来を受診した子供たちを抵抗無く診察することができ、かつ的確な初期治療が行えるような医師となって頂くことです。指導医とともに患者様を診察することで、外来でよく遭遇する小児特有の訴えと鑑別診断、応急処置を学びます。小児科は一見大変そうに思われがちですが、子供たちに慣れることで、実際は成人よりもはるかに診察しやすい面もあり、意外と“食わず嫌い”的な部分があるのではないのでしょうか。

<研修の実際>

- ・指導医とともに病棟入院患者を数人受け持ち、小児の診察、手技、処方、輸液療法など診療の基礎を学びます。特に“採血”と“静脈路確保”はしっかり指導します。
- ・小児科一般外来に加え、各種小児慢性疾患専門外来（アレルギー、腎臓、神経、循環器、内分泌、血液・悪性腫瘍、新生児）を見学し、小児特有の多様な疾患への理解を深めることもできます。
- ・希望者は、指導医とともに小児科当直や“金沢市総合健康センター夜間急病診療所”を見学し、日常よく遭遇する疾患とその対処法を学ぶこともできます。

小児科志望の方には、より専門的なコースも整えていますのでホームページをご参照・いつでもご連絡下さい。いつでも歓迎・お待ちしております。

<https://ped.w3.kanazawa-u.ac.jp/training/>

